

都市整備

水資源の確保を

Q 水資源を確保するために長崎市から菅瀬ダム水利権の譲渡や鹿島市の中木庭ダムからの緊急時の送水依頼を早く検討すべきではないか。また、下水処理水を3次処理すれば工業用水にもなり、大村湾の浄化にもなる。

A 長崎市からの菅瀬ダム水利権の譲渡や鹿島市の中木庭ダムからの送水は各市の状況等から難しい。また、下水処理水の3次処理は水資源の確保や環境保全に有効であるが莫大な費用を要する。この場合、国の補助が必要となるが、その要件として県が大村湾全体の流域を対象とした計画を策定する必要がある。現在、県に対し計画策定を要望している。

松原駅周辺整備について

Q JR松原駅は、駅舎の建替え、駐車場、駐輪場等の整備を行い、ゆとりある駅周辺の整備をする必要があると考える。地域環境に合った利便性、安全性を考えた住みやすいまちづくりの整

備をするべきであると思う。市の考えを問う。

A JR松原駅の駅舎の建替えや駐車場の整備は最終的にJRの判断となるが、JRや地域住民との協議を重ね、一步一步前進できる状況をつくりたい。駐輪場の整備については利用者の実態を踏まえ、JRと協議したい。

市道竹松駅坂口線(小路口)の早急な拡幅を

Q SUMCOTECHの社員寮付近の市道は、池田沖田線の整備進捗に伴い通行量の増加は必至である。早急な拡幅が必要ではないか。また、この市道の終点である荒瀬町の国道444号線との交差点では右折帯が短く混雑している。これを郡川の道路に迂回させて産直かやぜ前の道路につなげ、4つ角の交差点にすれば解決できるのではないか。

A 指摘の市道については池田沖田線の供用開始までに整備を検討する。この市道を産直かやぜ前の道路につなげた場合、国道444号線からの交通量が増加することになることから、地域住民の意見を聞きながら検討したい。

水源の保全について

Q 水道水の安定供給のためには地下水の涵養保全が重要である。その一つとして、一定水量を貯留し、地下水への浸透効果が期待できる転倒堰を郡川に設置できないか。

A 郡川河口から荒瀬橋まで井堰が11箇所ある。転倒堰の設置については郡川河川改修に伴い河口付近の平四郎堰の工事が進んでいる。設置できるかわからないが、地下水の涵養に効果があるということであれば、上流の堰についても併並びに関係者と協議し、転倒堰の設置を要望していく。



行財政・一般

係長以下の人事評価制度導入について

Q 課長以上の人事評価は実施されているが、係長以下、一般職員の評価は実施されていない。職員の資質向上、仕事意識の改善が緊張感を生み、結果的に市民満足度の向上につながることを期待できるので実施すべきである。

A 現在、部課長級職員に対する目標管理による実績評価、課長級職員に対する能力評価を実施している。平成23年度からは係長級職員に組織目標を達成させている。一般職の能力評価については平成25年度から試行したいと考えている。

将来的な市庁舎のあり方について

Q 大村市の将来像を考える上で重要な市役所の位置づけが都市計画マスタープランに示されていない。市役所は防災拠点等、大きな機能を有しており、その場所によって今後のまちづくりが大きく左右される。現在の市庁舎は老朽化していることから、建替えを機に、機能や場所の問題を早急に議論すべきである。

A 市庁舎の建設は早急に方向づけを行う必要があることから、昨年、庁内に市庁舎建設検討委員会を設置し、現状、時期、規模、場所等について協議を開始した。平成24年から25年にかけて方向づけを行いたい。